（別紙4（2））

事業所名 グループホーム「浄心の杜」

作成日： 令和元年10月4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議開催にあたり、家族様の参加率が悪い。家族様も仕事をして見えたり、ご高齢になられ、なかなか参加して頂けない。	運営推進会議の参加者を5人以上に増やし、いろいろな意見を交換する。家族様の意見を今まで以上に取り入れていきたい。	以前から、イベントや行事の際に声掛けを行い、その中で運営推進会議を開催の旨をお伝えしてきましたが、参加者は少なかったので参加して頂けるようなイベントを考え、また運営推進会議の内容もマンネリ化にならない内容を考えていきたい。	12ヶ月
2		介護職員のスキルアップで、無資格の職員がおらず、介護福祉士においては、14名中6名が取得し、今後も取得を目指す職員もいます。しかし、実際の現場では活かされていないことが多いのが現状です。原点に戻り介護従事者として入居者ひとり一人と向き合ってほしい。	入居者の何ヶ月先のレベルや起こりうる事故を想定し、防げるだろう事故を0件にする。また、毎日をどう過ごしたいか、何処へ行きたいか希望に添った支援をする。	会議の中では入居者の状態の周知やそれにあったケアの見直しをしていますが、毎日の申し送りの中でも周知徹底し、疾病の早期発見と事故を未然に防ぐ。毎日の暮らしについては、意思表示の出来ない方も、家族と話し合い、したい事、行きたい場所へ出かける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。